

TBENCHEXコマンドしきい値データ作成ユーティリティ "PV.EXE"について

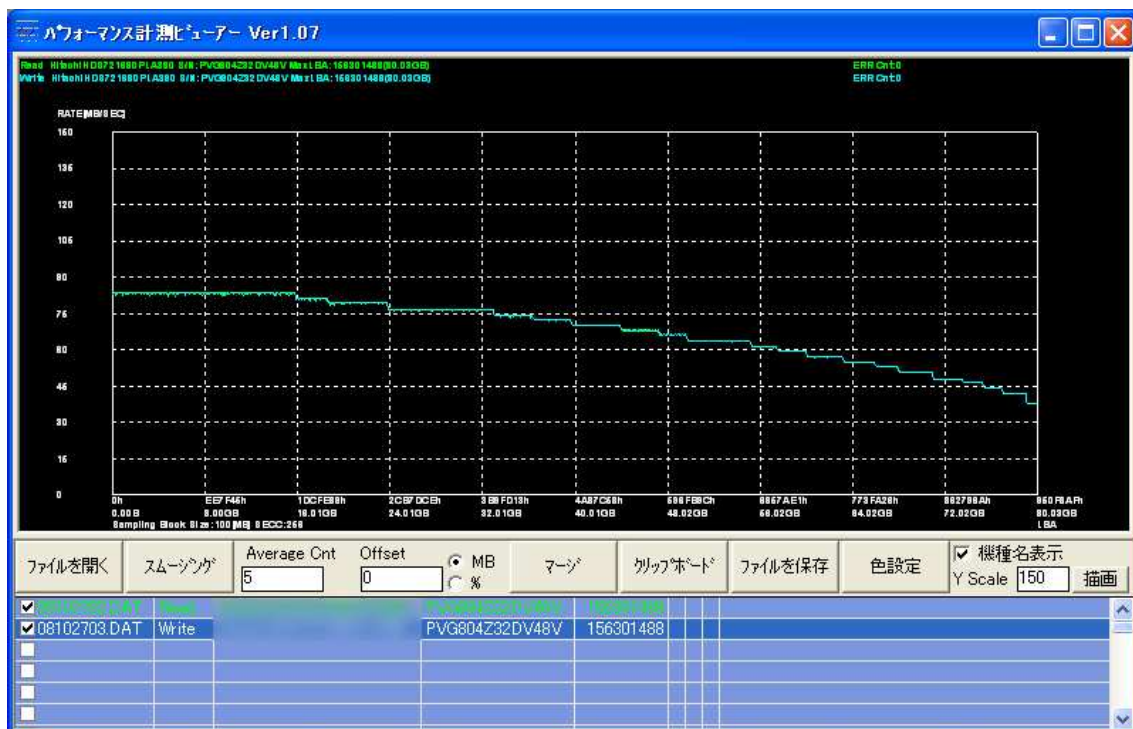
2017.3.15

1. 機能

しきい値データ作成ユーティリティ"PV.EXE"はベンチマークコマンドで転送レートを計測する際のしきい値データファイルを作成するツールである。又、ベンチマークで計測された計測データファイルのビューワーとしての機能も有する。

機能一覧

- 指定されたグラフデータに対してスムージング処理を施す事が出来る。
- 指定されたグラフデータに対してマイナスのオフセットを加算する事が出来る。
- 指定された複数のグラフデータを一つにマージする事が出来る。
- TBENCHEX コマンドで取得したデータファイルよりグラフ表示をする事が出来る。
- スムージング処理等を行い作成したグラフデータをファイルに保存する事が出来、そのファイルを TBENCHEX コマンドにてしきい値データとして利用できる。



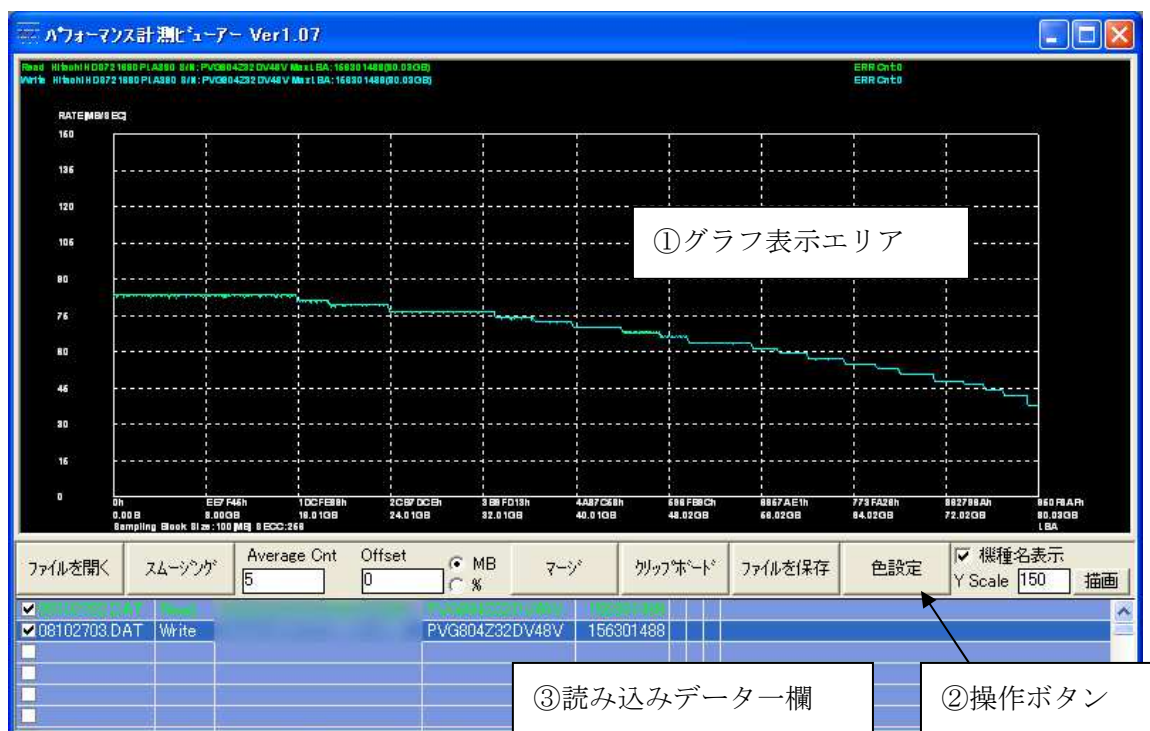
表示イメージ

2. 実行方法

C:\¥Program Files (x86)\¥sanei¥pv¥PV.exe を実行します。

出荷時にはデスクトップに PV.exe のショートカットがありますので、ダブルクリックして起動してください。

3. 操作説明



① グラフ表示エリア

読み込んだデータファイルより転送レートを示すグラフを表示する。グラフはファイル、Read/Write データ毎に色分けされ表示される。

② 操作ボタン

グラフファイルの読み込み、保存、読み込んだグラフデータに対して編集等を行う。

ファイルを開く	スムージング	Average Cnt 5	Offset 0	MB %	マージ	クリップボード	ファイルを保存	色設定	機種名表示 Y Scale 100	描画
---------	--------	------------------	-------------	---------	-----	---------	---------	-----	----------------------	----

・ファイルを開く

データファイルを開く。複数の選択が可能である。

・スムージング

Average Cnt、Offset に入力された値を元に選択されたグラフデータに対して補正をかける。Average Cnt は指定した数値 $n=1\sim1000$ でスムージング補正をかけるデータ点に対し、そのデータ点以降の n ポイントのデータ点の平均値で返す(図 1 参照)。

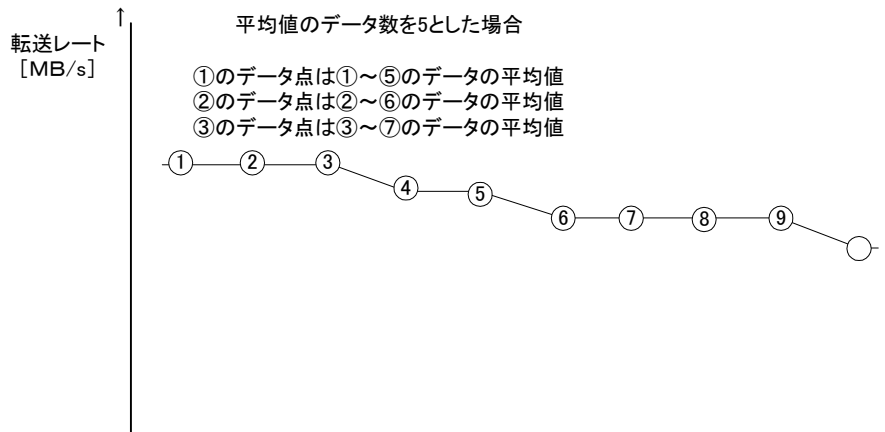


図 1

Offset はスムージングしたデータに対してマイナス方向にオフセットを加え、しきい値とすることが可能(図 2)。**[MB]**を選択するとデータ点に対して 0~100[MB/s]の任意の値でしきい値を設定することが可能。**[%]**を選択するとそれぞれのデータ点に対して 0~100[%]の任意の値でしきい値を設定することが可能。

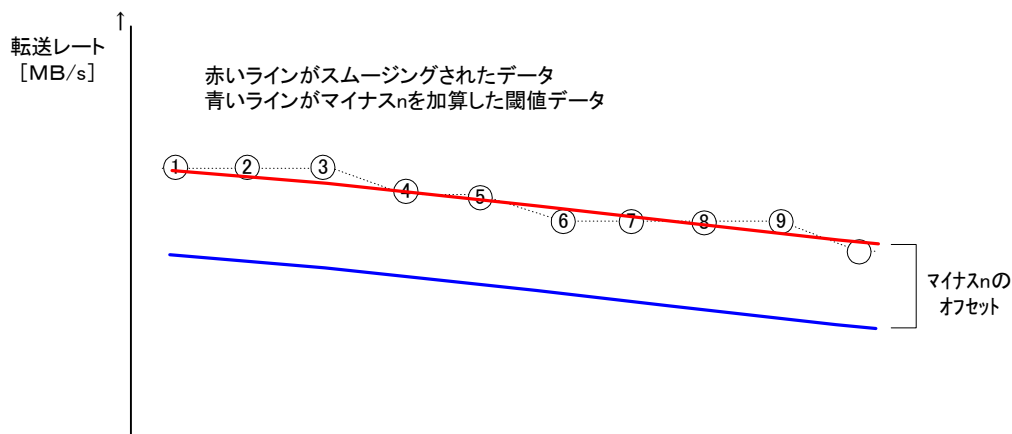


図 2

- マージ
指定された複数のグラフをマージする。
- クリップボード
グラフ表示エリアに表示されている画像をクリップボードにコピーする。
- ファイルを保存
指定されたファイルをファイルに保存する。
- 色指定
グラフ表示エリアの背景色等を設定する。
- Y Scale
グラフの縦軸の目盛りを 10~500[MB/s]の任意の数値に変更可能

③ 読み込みデータ一欄

現在、読み込んでいるグラフデータの一欄が表示される。

<input checked="" type="checkbox"/>	12143001_MPB2LDX2CJ8JRP.DAT	Write		MPB2LDX2CJ8JRP	78140160			
<input checked="" type="checkbox"/>	12143001_MPB2LDX2CJ8JRP.DAT	Read		MPB2LDX2CJ8JRP	78140160			
<input checked="" type="checkbox"/>	12143001_MPB2LDX2CJ91MP.DAT	Write		MPB2LDX2CJ91MP	78140160			
<input checked="" type="checkbox"/>	12143001_MPB2LDX2CJ91MP.DAT	Read		MPB2LDX2CJ91MP	78140160			

ファイル名、試験時の動作モード(Write/Read)、機種名、シリアル番号、最大 LBA が表示される。

又、ファイル名の前に付いているチェックボックスを ON/OFF する事により、グラフ表示の有無、操作ボタンによるグラフ編集の対象となるグラフの選択を行う事が出来る。

例)

<input checked="" type="checkbox"/>	12143001_MPB2LDX2CJ8JRP.DAT	Write	
<input type="checkbox"/>	12143001_MPB2LDX2CJ8JRP.DAT	Read	
<input type="checkbox"/>	12143001_MPB2LDX2CJ91MP.DAT	Write	
<input checked="" type="checkbox"/>	12143001_MPB2LDX2CJ91MP.DAT	Read	

データは4つ読み込んでいるがグラフ表示領域に表示されているグラフデータは2つ

この状態でスムージングボタンを押すとチェックされている2つのグラフデータに対してスムージング処理が施される。

この状態でマージボタンを押すと、この2つのグラフデータを一つにする。